

2011年度事業報告書

(2011年4月～2012年3月)

平成23年6月1日に公益移行認定申請を行い、内閣府との折衝・補正・修正作業を終え、同年9月29日公益認定等委員会での諮問を経て、10月7日同委員会から内閣総理大臣への公益認定の答申がなされた。そして、3月23日に内閣府より認定証の交付を受け、4月1日大阪法務局に登記を行った。

当該期間内に実施した事業は以下の通り。

【外国人留学助成】

43,544千円

アジアからの国際大学留学生15名に対する奨学金助成（23年目）

- ・1年生7名、2年生8名
- ・累計助成者数：160名
(男性98名 女性62名、17か国・地域)

2011年

- 6月20日 2年生卒業前の財団訪問(修了報告)
- 6月24日 国際大学修了式 出席
- 8月初旬 国際大学同窓生ニュース「大志」発行(第13号)
- 10月12-14日 国際大学訪問
・新留学生(7名)オリエンテーション
・個人面談
- 11月25-26日 1年生東京研修
・東京大学(本郷)
・パナソニックセンター東京などを訪問
・国際大学同窓会開催(OB 9名参加)
- 12月20-22日 1年生関西研修
・パナソニックセンター大阪
・松下幸之助歴史館
・京都大学等を訪問

2012年

- 1月初旬 国際大学同窓生ニュース「大志」発行(第14号)
- 2月22-23日 国際大学訪問 冬期個人面談

【日本人留学助成】「松下幸之助国際スカラシップ」

56,116千円

アジア、中近東、アフリカ、ラテンアメリカ地域への留学助成（14年目）

- ・本年度の認定者は15名（アジア10名、アフリカ2名、ラテンアメリカ3名）
- ・累計助成者数：157名（うち助成終了者110名、留学先：37か国・地域）

2011年

6月6日 第1次選考委員会（書類）（リーガロイヤルホテル大阪）

応募者35名から21名選出

6月30日 第2次選考委員会（面接）（リーガロイヤルホテル大阪）

15名全員を最終選出

9月29日 2011年度「松下幸之助国際スカラシップ」認定式
（パナソニック本社）

- ・認定者15名に認定証授与、歴史館訪問

10月15日 第7回松下幸之助国際スカラシップフォーラム開催
（於：東京大学弥生講堂）

・プログラム

「基調講演」"世界のなかのアジアと日本"
ーグローバルな理解を目指してー

講師：総合地球環境学研究所 客員教授／
京都大学 名誉教授 加藤 剛氏

「発表」

松下幸之助国際スカラシップ終了生 5名
（中国、シリア、タイ、ラオス、スーダン）

- ・参加人数：60名
- ・共催：フォーラム委員会（委員長：水口拓寿氏 武蔵大学人文学部准教授、2000年度奨学生）
松下幸之助記念財団
- ・後援：外務省

12月初旬 松下幸之助国際スカラシップニュース「大志」第12号を発行

1月下旬 松下幸之助国際スカラシップ留学終了者、新規5名のブックレット出版（累計28名が出版）

【研究助成】

41,766千円

人文・社会科学分野の研究を行う博士後期課程在籍者及び博士後期課程終了後5年以内の研究者への助成(23年目)

2011年

7月22日 選考委員会 (於:リーガロイヤルホテル大阪)

応募総数 323件、合格者数 **80件**

(博士後期課程在籍者 49名、博士後期課程終了後5年以内 31名)

	日本人	外国人	合計
応募件数	254	69	323
助成件数	63	17	80

1989年～2011年

累計助成者数 : 1,630件

【国際交流助成】

3,262千円

トルコ国 チャナツカレ3月18日大学日本語教育学科学生の日本研修を助成(15年目)

- ・本年度は学生6名が研修に参加
- ・累計助成者数 … 79名

2011年

8月27日-9月4日 広島国際プラザにて日本語及び日本文化研修

9月5-7日 アイドン・オズベッキ助教授のもと6名の学生が財団を訪問し、松下理事長と昼食懇談
松下幸之助歴史館、パナソニックセンター大阪等を訪問

9月7-9日 京都研修、奈良研修、枚方近辺でのホームステイ

【第20回松下幸之助花の万博記念賞 顕彰】

17,185千円

1) 受賞候補者の推薦依頼 (2011年6月)

推薦人259名に推薦依頼

2) 候補者の推薦締切り (2011年8月)

記念賞	27件
記念奨励賞	22件
選考対象合計	49件

3) 選考委員会

第1回	2011年 5月26日	於:千里阪急ホテル
第2回	2011年10月 5日	同上
第3回(最終)	2011年10月18日	同上

選考結果は下記の通り。

(敬称略)

20周年
特別記念賞
(300万円) 堀田 満 西南日本植物情報研究所 所長 鹿児島大学/鹿児島県立短期大学 名誉教授
南日本の植物多様性や人と植物の開発の研究、また植物映像資料の作成などを通して植物の面白さ大切さを広く社会に発信し続けてきた功績。

- 記念賞 菊澤 喜八郎 石川県立大学 環境科学科 教授
(300万円) 樹木の展葉フェノロジーに関する詳細な記載と、その理論化を通じて食物の生活を理解する新しい考え方を示すことで大きな貢献をした功績。
- 記念奨励賞 宇田 明 (株)なにわ花いちば テクニカルアドバイザー
(150万円) カーネーションをはじめとする花卉の近代的生産・流通技術の開発・普及を通じて園芸の発展に大きな貢献をした功績。
- 記念奨励賞 能城 修一 森林総合研究所 木材特性研究領域チーム長
(150万円) 木材解剖学を通じて樹木の特徴と多様性の解明に貢献し、その一方で日本の植生の変遷ならびに森の国日本にふさわしい木の文化の特質の掌握にも尽力した功績。

4) 第81回 理事会 (2011年11月21日)
選考委員会から推挙された上記の受賞候補者を理事会にて決定。

5) 贈呈式・講演会 (2012年2月4日)
リーガロイヤルホテル大阪「山楽」の間において開催し、約200名が参加。

* 贈呈式

松下理事長から各受賞者に表彰状、クリスタル楯、目録及び花束を贈呈した。

* 講演会

今回の受賞者4名の方々が講演を行った。

① 堀田 満氏

テーマ: 西南日本の植物たち
～二十年の間に明らかにできたこと～

② 菊澤 喜八郎氏

テーマ: 植木行動学ことはじめ
～動かない樹木の行動を探る～

③ 宇田 明氏

テーマ: 切り花の寿命を伸ばす
～動かない樹木の行動を探る～

④ 能城 修一氏 ④ 能城 修一氏

テーマ: 日本における ④ 能城 修一氏
～縄文時代における木材資源利用を対象に～

【”花の万博” 基本理念の普及に関わる研究・行事等に対する助成】

1,401千円

* NPO法人地球環境大学が主催する「地球環境大学講座」への助成

2011年度のテーマは、「地球環境の未来を問う」と題し、8回の講義が大阪市立自然博物館にて開催された。また、10月22日の最終講座には当財団からも参加し、受講生・NPO法人地球環境大学理事及びパネラーとのパネル討論・懇親会にも出席した。

* 花博20周年記念座談会(2011年12月8日 於: 松下真々庵)

・20周年を記念して、下記の方々に出席頂き、記念賞の歴史、更なる充実を目指しての討論・提案を行った。

(出席者)

今西 英雄	大阪府立大学名誉教授
大場 秀章	東京大学名誉教授
河野 昭一	京都大学名誉教授
酒井 章子	総合地球環境学研究所准教授
田中 耕司	京都大学名誉教授
田村 実	京都大学大学院教授
堀田 満	鹿児島大学名誉教授
松下 正幸	松下幸之助記念財団理事長

理事会・評議員会等の開催

(1) 第57回評議員会

- ・開催日： 2011年4月18日(月) 於 松下幸之助記念財団 会議室
- ・出席者： 評議員全員(書面表決者を含む)
- ・議 事： ① 理事・監事の任期満了による改選の件
上記議案を審議の結果、すべて原案通り承認された。

(2) 第79回理事会・第58回評議員会

- ・開催日： 2011年5月23日(月) 於 松下幸之助記念財団 会議室
- ・出席者： 理事・評議員全員(書面表決者を含む)
- ・議 事： ① 2010年度 事業報告案承認の件
② 2010年度 決算案承認の件
③ 公益財団法人松下幸之助記念財団理事、監事及び評議員に対する報酬基準規程(案)承認の件
上記3議案を審議の結果、すべて原案通り承認された。

(3) 第80回理事会

- ・開催日： 2011年8月10日(水) 於 松下幸之助記念財団 会議室
- ・出席者： 理事全員(書面表決者を含む)
- ・議 事： ① 2011年度「松下幸之助国際スカラシップ」奨学金支給対象者案 承認の件
② 2011年度「研究助成」助成金支給対象者案 承認の件
上記2議案を審議の結果、すべて原案通り承認された。

(4) 第81回理事会

- ・開催日： 2011年11月21日(月) 於 松下幸之助記念財団 会議室
- ・出席者： 理事全員(書面表決者を含む)
- ・議 事： ① 第20回「松下幸之助花の万博記念賞」受賞者承認の件
上記議案を審議の結果、原案通り承認された。

(5) 第82回理事会・第59回評議員会

- ・開催日： 2012年3月8日(木) 於 リーガロイヤルホテル大阪
- ・出席者： 理事・評議員全員(書面表決者を含む)
- ・議 事： ① 2012年度 事業計画および収支予算の件
② 定款の改定の件
③ 諸規程の改定及び制定の件
④ 顧問選任の件
⑤ 各種選考委員選任の件
⑥ 基本財産の指定の件
⑦ 事務局長選任の件

上記7議案を審議の結果、すべて原案通り承認された。

以上